



## Libris Mortis Part Two (未訳)

By Keith Baker

この説明の前章では、Libris Mortis (未訳) の不吉な要素を源とするグループと宗教について説明しました。この章では、この本へ僅かに要素を追加し、アンデッドと戦うグループを解説します。

### 闇と戦う

Libris Mortis (未訳) はアンデッドと戦うことに関しても多くのテクニック、すなわち特技、呪文、上級クラス、這いずる死者に対する数々の武器を提供します。この本の残りの内容は、直ぐに全てのキャラクターに提供することができるものです。しかし、最初の章で説明したように、これらのテクニックを特定の宗教やグループに制限することによって、より面白い展開を与えられるでしょう。

以下の組織は、アンデッドに対する戦争の最前線にいます。

### デスガード

不死宮廷は負のアンデッドがマバールのエネルギーを導いており、それがただ存在するだけで、これらのクリーチャーがゆっくりとエベロンの生命力を流れださせていると説いています。多くの場合、**エアレナル**は外界との接触を避けることを好みますが、アンデッドに対する戦争は全ての国境を超える脅威なのです。この対立に参加している兵士達は、デスガードと呼ばれ、不死宮廷と世界からアンデッドという汚物を絶滅させることに特化した精鋭部隊として知られています。

デスガードは、戦士大全の**セイクレッド・ピュリファイアー**、ハンター・オブ・ザ・デッド上級クラスや信仰大全からセイクレッド・エクソシストになれるクレリック、パラディン、ファイターで構成されています。この部隊は、冒険者大全からシャドウベイン・ストーカーのレベルを持つクレリック/ロークの小部隊をも含んでいます… これらのエージェントは、非実体のアンデッドに対して急所攻撃を行う為に、ゴースト・ストライクが付いた武器をよく装備しています。多くのNPCがNPCクラスのレベルを有する世界に於いて、デスガードはエアレナルの最も優秀な兵士と司祭から選抜され、最良の手段となっていますが、彼らの数は僅かで、デスガードのメンバーが失われることは、不死宮廷にとって大打撃となります。



デスガードのクレリックは、アンデッドと戦う為に作られたLibris Mortis (未訳) の呪文 (ゴースト・トラップ、ゴースト・タッチ・アーマー、プロテクション・フロム・ネガティブ・エナジー、スポン・スクリーン、アンデッド・ベイン・ウェポンや類似の効果) を使うことができ、多くの新しい特技を許すべきでしょう。**エアレナル**はイリアンに関連の強い地域として知られており、この地域で行われた儀式はデスガードを正のエネルギーで満たします。これが《Enduring Life》、《Empower Turning》、《Scared Vitality》、《Unquenchable Frame of Life》のような特技を取得することを可能にします。このような儀式への参加は、これらの特技を取得したいと願うPCへの簡単な必

須条件ともなります。もしキャラクターがデスガードから敬意を払われる存在になれば、彼女はこれらの謎についても教えを受けるかもしれません。

デスガードの僕達は、彼らが定命の法と呼び、心の拠り所としている人々にとっての誇りです。一方、この考えに同意しない人々もいます。エルフは一般的に密かに行動することを要求されます。彼らが全てのアンデッド・クリーチャーや負のアンデッドを作り出す全ての死霊術師に攻撃を行う際には、彼らは最も重要な目標、すなわち強力なヴァンパイアの支配者、ヴォルの血のリーダーなどと戦おうと努めます。一方でエランディス・ド=ヴォルはデスガードを嫌悪しており、常にデスガードの部隊を排除するどんな機会でもうかがっています。その為、デスガードの戦士達はヴォルの血に対抗し戦っているのであれば意外な同盟者になるかも知れず、冒険者が巧妙な秘密捜査にかかわったとき、彼らが突然現れることもあり得るのです。

最後に、**エアリナル**のエルフは、**Positoxins (聖薬?)**の明確な供給源です。エアリナルのジャングルにはたくさんの普通には風変わりな生産施設が存在し、その多くはイリアンとマバールのエネルギーが現出し変化させられています。これらの次元界からのエネルギーと負のアンデッドに対する嫌悪が、**エアリナル**はこれらの特殊な道具を開発させる論理的な力になったのです。

## シルヴァー・フレーム

シルヴァー・フレームのテンプラーは全ての形態の超自然的な悪と戦い、定命の者の血と生命力を求める多くのクリーチャーが対象となります。シルヴァー・フレームのクレリックが目指す最高位のひとつに**悪魔払い**があります。**悪魔払いの領域**を持つ全てのシルヴァー・フレームの司祭には以下の利益が与えられるでしょう。

- (彼がそれを発動するに十分なレベルを持っていることを前提として) ゴースト・トラップ呪文への接触
- 顕現する為にハウンドイング・プレゼンスの力を使う〈知識〉(宗教) 判定に+4

通例として、シルヴァー・フレームの兵士達は、デスガードが持つアンデッドの知識と希少な特化された特技、呪文、Libris Mortis(未訳)のプレイヤー・キャラクターや焦点具を持っていません。しかし、カルナスのアンデッド軍団との長い戦闘によって、スレインのクレリックは力の弱いアンデッドを退散する技術を研ぎ澄ましてきました。**キーパー・オブ・フレーム**によって儀式が行われ、彼らに祝福を与える為に、**フレームキープの中心にある炎の泉**でその力が発揮される前に高名なクレリックが召喚されます。この祝福を受ける者は(彼らが新しい特技を取得できる場合)、《Empower Turning》、《Heighten Turning》、《Quicken Turning》特技を選ぶことができます。

一般に、シルヴァー・フレームの信徒は、はっきりとアンデッド・クリーチャーが危険かつ不自然であると考えており、彼らはアンデッドと取引する者には明確に敵意ある反応を示すでしょう。

## ソブリン・ホスト

ソブリン・ホストに於いて、アンデッドの駆逐は、**太陽と犠牲を統べる**ドル・アラアの領域です。シャドウとキーパーが生ける者に対して恐怖を与えたとき、そこから戻れるようにするのはドル・アラアの光です。ソブリン・ホストは多神教の宗教であり、ソブリン・ホストの多くのクレリックは、アンデッドを退散させるときにはドル・アラアに訴えかけます。太陽の領域を学んでいる者はしっかりと彼女の儀式を調べており、より効果の高い退散を行うことができます。



ソブリン・ホストの一般的な司祭は、一般的にはアンデッドとの戦闘を期待されておらず、専門的なLibris Mortis（未訳）の能力への接触を許されていません。しかし、ドル・アラーに近づくことを専門としている多くの集団が存在します。ブレード・オブ・サンはパラディンの系統で、適切に神聖な存在であるのなら、そのメンバーは、《Divine Accuracy》や《Sacred Vengeance》特技アンデッドベイン・ウェポン呪文へのアクセスを得るかもしれません。ドル・アラーの司祭のメンバーは、デスガードと手を結び、テクニックを学びました。これらの司祭はしばしば**エアリナル**から遠く離れて活動するエルフを匿い、支援します。

ドル・アラーの信徒は信仰大全のラディアント・サーバント・オブ・ペロール上級クラスになるかもしれません。少数がデスガードから**Scared Purifier**を学びましたが、これはまだ一般的に使われてはいません。**Scared Purifier**のレベルを望むプレイヤー・キャラクターが最も見込みがあり、**エアリナル**に目を向ける必要があるでしょう。

## レッド・ウォッチャー

Magic of Eberron（未訳）には、カルナスの大地を浄化しようと努める、レッド・ウォッチャーと呼ばれる、アンデッドと戦うことを専門とする新しい組織を紹介しています。レッド・ウォッチャーは自ら独自の上級クラス、デッドグリムを育成しました。この道を行くキャラクターは生と死の間を進みます。《Tome-Tainted》特技は更にこの集団に迫る素晴らしい方法となります。《Ghost Scarred》特技は同様に大いにレッド・ウォッチャーに適切なものです。レッド・ウォッチャーは宗教ではなく、自らの権利として活動しています。この組織の多くのメンバーは、上述したシルヴァー・フレームやソブリン・ホストにいた背景を持っています。

## デスレスとLibris Mortis

エベロン・ワールドガイドは、アンデッドと多くの重複を持つ新しいクリーチャー種別、最もよく知られているのが**エアリナル**の不死であるデスレスを含んでいます。デスレスは正のエネルギーと子孫の献身によって死後、支えられています。デスレスはLibris Mortisとどう関係するでしょう。

簡単な答えとして、それがアンデッドの種別であるかのように、デスレスに適切な特技を許可することです。例えば、デスレスは悪のクレリックによって退散や破壊させられるので、強力な**アンダイニング・コンシーラー**の為に《Turn Resistance》を与えることはよい選択となります。デスレスの為に正のエネルギー抵抗を負のエネルギー抵抗に変換することもできます。Lifesenseは生きている者を通じて流れる正のエネルギーを認識する能力として扱い、Lifebondは（多くはその子孫である）特定の忠実な僕からデスレスの力を示す為に使うことができます。



トゥーム・ワーデン上級クラスは、デスレスにとって重要なクラスであり、**死者の都を護る不死の兵士**にとって適切なものです。デスズ・チョーゼン上級クラスは、チョーゼン・オブ・デスレスになる為に変更することができます。属性制限（多くのデスレスは善です）を取り除き、不自然さは残してください。彼らは正のエネルギーで動いているものの、デスレスは未だ不自然な存在なのです。

## ヴォルの血のヴァンパイア

ヴォルの血の教えは、アンデッドが教会のチャンピオンであるという考えに基づいています。信者は戦いに於いて自らをより強くする為に快く自らの血をヴァンパイアに捧げます。しかしLibris Mortis（未訳）によれば、ヴァンパイアを動かす最も大きな力は、生命エネルギーに対する逃れられない渴望であり、僅かな血の贈り物よりも、犠牲者にとつ

てより致命的なものへの飢餓なのです。このような生命維持のシステムは、信徒により重大な犠牲を強いるものであり、ヴォルの血のセクトは直ちに虐殺されてしまうでしょう。その為、ヴォルの血に連なるヴァンパイアは、僅かな生命エネルギーに対する渴望を持つに留めるべきです。彼らが生きながらえる、猶予期間の7日間の中に、意志セーブ難易度15を行い、ダメージとして【判断力】に1d4ダメージを受けます。最も簡単な解決案は、この修正を全てのヴァンパイアに適用することですが、君が望むのならもうひとつのヴァンパイアの亜種が存在していてもかまいません。その場合には、その起源がクアバルリンにまで辿ることができるようなアンデッドだけが、この小さな渴望を持っており、Katashkaに作られたものは、絶え間なき渴きを持っているでしょう。

## キャラクターとしてのアンデッド

Libris Mortis (未訳) は一般的なアンデッドの多くにクラスのカテゴリを提供しています。アンデッド・キャラクターはロールプレイに多くの興味深い機会を与えてくれます。例えば、かつてのシルヴァー・フレームのパラディンであった君は殺され、グールとして蘇りました。君は凶暴な習性を克服することに成功しましたが、何をすればいいのでしょうか。また、君はヴォルの血のチャンピオンのひとりですが、生きる者を護るアンデスの力を受け入れました。君は自身の教会の汚職を見つけ失望していましたが、まだ自分に原因があると信じています。

彼らの状態を隠すことが難しいのなら、アンデッド・キャラクターが五カ国にいるのは困難さを伴うでしょう。驚くまでもなく、大抵の人々はアンデッドが危険なモンスターだと考え、この章で説明されたいずれのグループもアンデッド・キャラクターを破壊しようと試みるでしょう。戦わず、逃げない人々でさえ、頑張っても非友好的なのが一般的で、その例外は、驚くほど広い見地を持つヴォルの血の信徒かドロアームの人々でしょう。

更に達が悪いことに、アンデッドはガリファアの法の下では一切の権利を持っていません。君がグールであるなら、ドル・アラーの司祭は法律的な問題を考えずに君を破壊することができます。それはとても厳しい道ではありますが、興味深い旅に向かうこともできます。

## Libris Mortisのモンスター

Libris Mortisは多くの新しいモンスターを提供しており、それら全てについて論じることはそれだけで章を設けなければいけなくなるでしょう。これらのモンスターの幾つかについて、エベロンではどのように扱われるべきかについての提案を以下に述べます。

- ドリーム・ヴェスティエグは、都市全体の死から生み出されます。それはモーンランドに完璧に適合し、ここでは何十万人もが殺されています。強力なクォーリがドリミング・ダークの武器庫に殺戮兵器を加えるべく、ドリーム・ヴェスティエグを操る能力を持つかもしれません。ヴェスティエグのドリーム・トラベルの能力は何の警告もなく世界中のどこにでも打撃を与えられます。
- ボーンヤードはモーンランドや五カ国の他のどこか、特にカルナスのアンデッドの大きな軍団が敗北した戦場に見出されるクリーチャーのひとつです
- エボルブド・アンデッド・テンプレートは、エランディス・ド=ヴォルやクアバルリンのヴァンパイアの支配者のような古代の力をより致命的なものにする興味深い方法です。40,000万年の進化の後、クアバルリンのヴァンパイアは、+12退散抵抗、高速治癒18、半ダースの疑似呪文能力を身につけているのかもしれないのです。
- **シャート市**は、**レディ・オブ・ザ・ブラーグ**として悪名高き強力な異形のグループの手で死の呪いによって破壊されました。シャーン市はこの**シャート**の廃墟の上に築かれており、多くの人々がデブスにまだ呪いが

残っていると話しています。結果として、ブラッドモート・クラウド、ボーン・ラット・スォーム、コーブス・ラット・スォームやダイア・マゴットが都市の下部で発見されています。恐らく、**レディ・オブ・ザ・ブラーグ**の一部が彼女の死から逃れました… これはシャーンの地下に強力なスォーム・シャッターを置くのに絶好の機会になるでしょう。この形態を取ることに彼女は数世紀を要したかもしれませんが、彼女が帰還した今、彼女を滅ぼしたドラゴンマーク氏族に復讐する為に上へ上へと病とアンデッドの**ヴァーミン**の波を解放しているのです。

---

## 著者について

キース・ベイカーは小学校のときからDungeons & Dragonsの熱心なファンでした。彼の生活は2002年に彼が Wizards of the Coast Fantasy Setting Searchにエベロンの世界を提出したときに劇的に変化しました。Wizards of the Coast, Incの為にエベロン・ワールドガイドと最終戦争の影の作成したことに加え、彼はAtlas Games、Goodman Games、Green Roninの為に資料を作り上げました。